

甲斐都第 10-33 号

平成20年10月21日

国土交通省道路局長 殿

山梨県甲斐市長 保坂 武



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県甲斐市

地方に道路は、まだまだ必要であり、特に山梨県内は公共交通機関などが不足しているため、自動車交通に頼らざる得ない状況にあります。

山梨県は全体的には人口減少に向かっており、県内経済や地域の活性化に寄与する道路網の構築を、長期的視野にたって進めて欲しい。

また、地域の実情にあった無駄のない効率的な整備を進め、真に地域が必要な道路整備を行えるよう要望します。

②－１ 地域の現状と抱える課題

山梨県甲斐市

○現 状

都市計画街路「和戸町竜王線」（国道５２号）の慢性的な交通混雑

都市計画街路「田富町敷島線」は、市内の基幹道路として重要な路線となっているため、未整備区間の早期完成

新山梨環状道路北部区間は、山の手通りや国道２０号の慢性的な交通混雑を解消し、市内外を結ぶ基幹道路としての機能を発揮させるために、当該道路の早期完成がきたされる。

○課 題

特に竜王駅前及び名取交差点の渋滞や、今後整備が見込まれる都市計画街路「田富町敷島線」との交差点部は、早期の道路整備が課題となっている。

竜王駅周辺整備事業により駅周辺道路の整備が進んでいますが、国道２０号への通過交通を駅前周辺から排除し、昇仙峡などの観光ルートの確保も考慮し、国道５２号から国道２０号までの間の早期完成が課題となっている。

慢性的な交通混雑の解消や渋滞による二酸化炭素の低減、旅行速度の向上による、経済活動の効率化、甲府市周辺都市間の連携軸として期待される、新山梨環状道路うち市内を通過する北部区間の後期完成が課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

④道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

山梨県甲斐市

○重点事項	○代表例	○期待する効果や評価等	○その他
合併による行政エリアの広域化に対応した地域連携に対する道路整備	合併後の公共公益施設や交通結節点間のアクセス道路の整備	合併後の公共公益施設や交通結節点への利便性の向上 地域間連携による合併効果の向上	重複公共公益施設の効率化 複合的施設への転換による利便性に向上など
少子化、高齢化、人口減に対応した道路整備	歩車共存道路 生活に密着した道路の利用方法の改善	住宅街の通過交通の排除や歩行者の安全確保を図るため、車両の速度を落とす工夫など	
歩いて暮らせるまちづくりに対応する道路整備	誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、道路の利用形態による機能の整備を図る	歩行者や自転車、車両を重点にした道路など、機能に応じた道路整備により安全で安心なまちづくりの骨格をつくる	P T Aからは、通学路の安全確保（歩道や道路照明の設置）などの要望が常にある
環境への負荷を低減する効率的な道路整備	渋滞発生箇所の交差点部などの右折（複合）レーンの設置など	必要最小限の道路改良による渋滞解消を図るなど	